

# 因島高校を支援する会

発行 因島高校を支援する会  
 会長 竹中啓修  
 事務局：因島高校PTA  
 108452-4-1281  
 題字 竹中啓修

## 地域に根ざす因島高校 NHKテレビ「学校訪問」放映

因島高校が、地域との交流を深めようとして取り組んでいる姿が、6月に、NHKテレビの「学校訪問」コーナーで、放映されました。



昨年からの定時制では、10代の若者に混じって、年配の人たちが勉強しています。これは、聴講生制度で、陶芸、パソコンなど、一部の授業を地元の人に開放しています。

聴講生の方にお聞きすると、「非常に若返ります。」「若い子に混じって、なにか一生懸命学べる機会ができて感謝しています。」と喜んでおられました。

### 定時制の陶芸教室

校舎の屋上には、県下でも数少ない、コンピュータ制御の天体望遠鏡があります。季節ごとに行われる天体観測会には、生徒だけでなく、地元の人も多く参加しています。



### 囲碁部クラブ活動

因島は伝統的に囲碁が盛ん。市の囲碁協会のメンバーが、「若い有望な囲碁棋士を育てよう。」と学校に通ってコーチしている。生徒は、「いろんなことを教えてもらってうれしい。」「生徒も、地元の人熱心な指導によってめきめき腕を上げてきた。コーチに通っている村上晶さんは、「私自

### 因島高校 PTA総会が開かれた

6月6日、因島高校体育館にて、PTA総会が開かれました。新しく選任された岡野長寿PTA会長は、「落ちついた環境の中で学べる環境が整い、これまでの学校改革の前進面に確信が持てた。新たに生じる問題を直視し子供の成長を図りという視点で、学校、教師、保護者が団結して問題解決にあたるのが重要です。」と挨拶しました。

### 「復古維新」教育のあるべき姿を求めて



広島県立因島高等学校 校長 松林 博文

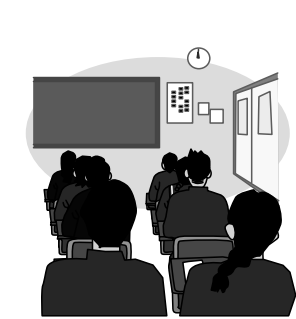
戦後、わが国の教育界では次々に新しいキーワードが登場しました。曰く、「主体性」「自己指導力」「カウンセリングマインド」「自己教育力」……最近の「生きる力」もそのひとつです。

しかし、ソクラテスや孟子の時代から、人間が人間を教育するのに、そんなにたくさん新しい理念や特別の技法があるはずはありません。登場した数多のキ

ーワードも、教育の側面を強調したり、教育のあり方を違う言葉で表現したものにすぎません。

では、新因島高校の掲げるべき教育理念とは何か。それは、旧因島高校と旧因島北高校の歴史と伝統に裏打ちされた両校の教育の精華です。

両校の風霜に耐えた理念を継承し、これを弁証法的に統一して不易な基盤とし、高い水準に到達することを生徒に求め、学校をして生徒を鍛える場とすることが第一、同時に総合学科の特性を生かして、生徒の興味、関心に応じたカリキ



今後ともわが因島高校に多大のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 因島高校教育実習生に聞く

5月・6月と因島高校に6名の卒業生が教育実習に来ました。その中から3名に感想を語ってもらいました。

#### 純粋で素直な因高生



仏教大学 柏原 有紀子

英語教員免許取得に当たり、実習先を因島高校に決めたものの日常の中でチラホラと耳にしていた「最近の高校生の実態」を目の当たりにするのが怖い気もして、実習直前までとても不安でした。因高生に関して

は悪い噂ばかり流れていたもので、「それなりの覚悟」が必要と思っていたからです。

でも、実際に実習に入り、多くの生徒たちと接し、これまで抱いていた不安は一気に消え去りました。どの子もとても純粋で、素直で一緒にいると気づかない内

にどこかにおきわすれていたところを呼び起こされるような気がしました。

ただ、まだまだ若いので自分というものの上手な表現手段が見つからず、もがき苦しんでいるような生徒も多く、短い期間でありま

したが、そういった生徒たちと少しでも多くかわりを持ちたく、いろいろなところへ顔を出しました。

あっといふ間の2週間で、やっと入り口に到達したところで実習を終えるのはとても悔やまれますが、さらに奥へ進んでいくためにも、今の気持ちを忘れず、努力しなければと思いつつ、また、日ごろから自分の気持ちを言葉にするとき、なかなか頭にあるものを100%伝えることができず、もどかしさを感じていたのですが、今回の実習でたのですが、今回の実習ですらにそれを痛感しました。



聖カタリナ女子大学 花岡 三賀

教育実習では、教師という仕事の厳しさ、生徒のかかわりの困難さ、教えることの難しさを味わった。長いようで短かった実習期間も今日で終わる。途中であきらめずにがんばろうと自分に言い聞かせながら、この二週間をすごした。

教育実習に際して私は、生徒に対して一線を引いて接していたように思う。教育実習は生徒という立場でなく、指導する教官としての立場として厳しい態度で生徒と接し、自分らしさややさしさを表現できず実習期間が終わった。

### 海外語学研修 冬または春休みに

オーストラリアへの海外語学研修は、夏休みに計画してありましたが、急速SARSの問題が起きましたので、冬休みまたは春休み実施の方向です。

3週間の教育実習を終えて、実際に教壇に立つという経験を、これまでは授業を受けるだけの生徒の立場からしか見ることができず、教壇に立つことが、教育における視野が広がり、教えることの難しさや喜びを感じる事ができました。

生徒の関心を引くことや、授業の展開にこの上ない困難を感じました。生徒の一人一人と話すときはそれぞれの人に対応した話し方ができ、自分の考えを伝えることがなんとか進めることができましたが、全員いっぺんに伝えることは大変難しいと感じました。

またそれらを克服するためには、教えるための技術や豊富な知識、生徒の言動に対する柔軟な対応など様々な要素が必要不可欠であり、自分の非力を感じました。最後の日にクラスの生徒から贈ってもらった「寄せ書き」を見ながら、感謝しています。



中京大学 村井 一也

難を痛感しました。生徒の一人一人と話すときはそれぞれの人に対応した話し方ができ、自分の考えを伝えることがなんとか進めることができましたが、全員いっぺんに伝えることは大変難しいと感じました。

また、授業も思ったように事が運ばず、緊張しながら、とてもごちない授業であった。授業時間は50分であるが、準備時間は何時

とで、人間としての成長を図っていくことが大切だと実感しました。

文化祭が近く行われるため、放課後、準備のお手伝いをしましたが、自分が在学したところと比べて規模が小さくなり、さみしく思いました。もっと元気に取り組んだら楽しさも大きくなるだろうと思います。いろいろご指導いただいた先生方にお礼を申し上げます。また、生徒のみならず一緒に過ごす中で、教えてもらうことが多くありました。最後の日にクラスの生徒から贈ってもらった「寄せ書き」を見ながら、感謝しています。

### 藤田広島県知事との懇談会尾道で開催 因島高校定時制の市民入学を要望

県政懇談会「YOU雄ト」が、6月10日火尾道市で行われ、尾道、因島市、御調、向島町から10人が参加し、地域づくりや取り組みを通じて日ごろ感じたこと、疑問に思ったことなどを知事と直接意見交換しました。

因島市からは、一色伸良さん(因島JC前理事長)、幡地玲子さん(NPO親子劇場などボランティア活動)、村井圭一さん(因島高校PTA前会長)の3名が参加。  
村井圭一さんは、因島高

### 因島高校吹奏楽部保護者会設立

吹奏楽部では、今年、技術指導できる先生が転勤していなくなったことから、クラブの指導体制が不十分となり、土日の練習の中止演奏会やコンクールの出場もできなくなるなど、不安が募りました。PTAは、クラブ活動を継続していただくよう学校に申し入れていただきましたが、吹奏楽部の保護者から「吹奏楽部の生徒のクラブ活動を支援しよう」という声が高まり、6月14日、保護者会が設立されました。

発起人の江藤真智子さんにお話しをお聞きしました。

吹奏楽部 保護者 江藤 真智子

今年度からは吹奏学部を指導してくださる先生がいない。ということで、6月6日PTA総会で、学校長にたずねました。「技術指導できる先生がいない」との回答でしたが、今後、保護者側で指導してくださる方を探してくれば「指導者

校でも家庭でも教えていなかった。大変だがこれから取り戻していかなくてはならない。因島高校定時制については適正な授業料がいただければ社会人に門戸を開くよう、県教委と話していきたい。」と答えました。

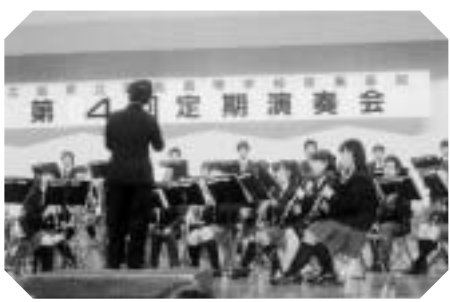


第1回保護者会

として迎え入れる」という回答をいただきました。その後、吹奏楽部の保護者の方から何件も問い合わせがあり、私一人では何もできませんので、6月9日に顧問の先生方に相談に行きました。

因島高校 総合学科とは？  
学力を伸ばすことも大事なことですが、その一方で「情操教育」を伸ばすことも総合学科としての特徴ではないでしょうか。

スポーツ面で、体操部の生徒がインターハイ、国体に出場したり、囲碁の発祥地でもある因島の囲碁クラブが活躍するのと同じように、吹奏楽部は毎年3月に、OB、OGにも盛り上げてもらい定期演奏会を市民の方々の前で演奏してきました。このように、クラブの面でも活躍している生徒の支援も総合学科のすばらしいところではないでしょうか。



吹奏楽部定期演奏会

### 安全な自転車通学を

因島交通安全推進隊 隊長 村上 政文

因島交通安全推進隊は、毎月2回、朝の通勤通学の時間帯に、交通指導を行っています。今年度は、特に高校生の自転車交通指導に力を入れて下さっており、PTA、教職員も、感謝の念を抱きながら、ともに活動しています。隊長の村上政文さんに、お聞きしました。

平素は交通安全活動に対し、ご理解とご協力を賜り心から感謝とお礼申し上げます。

人命尊重の理念のもと、安全で安心できる交通社会をめざして、住みよい明るい因島を実現するため、交通安全の年間重点目標に向けた推進事項を効果的に進め、その中で皆さん一人一人が交通安全に対する意識を高めていただき、交通ル

### 因島高校に思うこと

NPO法人「遊喜の会」(特定非営利活動法人)代表 村田 理恵

3月、NPO法人「遊喜の会」(特定非営利活動法人)で、因島高校の施設をお借りし、「家庭生活での看護研修会」を開催させていただきました。

参加された方々からは、因島高校の自然環境のよさと施設が充実されていることに驚かれ、このような中で、学ばれることをうらやましく思いました。環境と設備が整った学校を皆さんに知っていただくため、地域の人たちが教室などを利用できるように条件整備をされてはいかがでしょうか。

そうならば、因島高校に対する理解度も高まり、地域の高校としてのよさにも気づくのではないのでしょうか。また、「ヘルパー2級の養成講座なども開催すれば、就職する際の選択肢の広がりや地域との交流、ボランティア活動への理解も深まると思います。

### 体操部活躍・田頭剛君全国大会出場

5月31日から行われた県総体において、因島高校体操部(団体)は3位入賞を挙げた。個人では、田頭剛君(1年)が、跳馬1位、ゆか・平行棒2位、鉄棒3位、総合2位と大活躍し、7月30日から長崎で開催される全国高校総体(インターハイ)に出場することになった。

6月13日から行われた、中国大会では、団体総合10位、個人総合では田頭剛君が12位となったが、個人上位者は、昨年全国優勝した岡山の関西高校が占め、田頭君はそれに次ぐ順位であり、1年生としては、最高



田頭剛君の跳馬演技

### 串畑真由美さん 小中高に寄付

串畑真由美さんは、ギャラリー喫茶「ブライムス」を経営しながら、文化活動に取組む地域の人達に無料で発表の場を提供して下さり、20周年を記念してチャリティコンサートを行いました。その収益金を児童生徒の情操教育の為に次のとおり、寄付頂きました。

- 市内7小学校各校 百人一首数組、CD宮崎駿アニマルパム、金一封。
- 市内5中学校各校 図書及び金一封。
- 因島高校 図書3冊。



図書室の様子

### 市民の投書箱

吹奏楽部の支援を



吹奏楽部の支援を

今年吹奏楽部はコンクールの出場や3月の定期演奏会ができなくなりそうなお知らせが、20周年を記念してチャリティコンサートを行いました。その収益金を児童生徒の情操教育の為に次のとおり、寄付頂きました。

吹奏楽部保護者会江藤さんから、「生徒会主催で応援団が組織されれば、吹奏楽部は全面的に協力します。」と申し出があり、藤原野球部保護者会長は、「選手への励みになります。」と喜んでいました。

吹奏楽部保護者会江藤さんから、「生徒会主催で応援団が組織されれば、吹奏楽部は全面的に協力します。」と申し出があり、藤原野球部保護者会長は、「選手への励みになります。」と喜んでいました。

### 天体観測会の実施を

去年、高校の天体望遠鏡の見学会があり、私も小学生の息子を連れて、いきま

息子も、少し、星に興味を持ち、夜空をみています。先生は、大変でしょうが、今年も企画してください。

### 日曜参観の検討を

先日因島高校PTA総会と授業参観が、あつたよう

私は、パートに行ってますので、その日は、仕事が休まれません、行けませんので、小学校や、中学校のように日曜日にしてもらうと、私のように働きに行ってるものには、助かります。

休みの日に参観日をして、いる高校もあるそうです。よろしくお願ひします。

### 編集後記

NHKテレビが、因島高校を取り上げてくれた。地域のひとと生徒が交流し勉強するのはすばらしいこと。藤田知事との懇談会で、村井PTA前会長が、定時制高校を生涯学習に市民開放を要望したところ、知事に前向きに検討していただけた。ぜひとも実現して、生徒だけの因島高校でなく、市民のための因島高校になってほしい。まもなく夏の高校野球が始まる。今年からは、学校から応援団ができる。今まで相手校のにぎやかな学校あがての応援を羨ましく思っていた選手諸君、大いにがんばってほしい。市民のみならず、一緒に応援に出かけよう。